

特別講演



下水流臼太鼓踊り（西都市）

特 別 講 演



「生きる（活きる）力は患者さんから 風に立つライオンに寄せて L O V E メッセージとともに」

特定医療法人耕和会 介護老人保健施設 サンヒルきよたけ

施設長 柴 田 紘一郎

プロフィール

昭和41年 長崎大学医学部卒業 同附属病院第一外科副手、助手を歴任
昭和46年 外科学指導にてケニア国政府（ナイロビ）派遣
昭和51年 宮崎医科大学第二外科助手に転任 同講師、医学博士取得
昭和59年 文部省在学研究にてカナダ（トロント総合病院）留学
昭和62年 宮崎医科大学第二外科助教授に昇任
平成8年 宮崎県立日南病院外科部長 同副院長を経て
平成11年 宮崎県立日南病院院長昇任
平成18年 特定医療法人耕和会介護老人保健施設サンヒルきよたけ施設長就任
平成21年 宮崎大学特任教授（地域医療連携室）併任
平成23年 宮崎大学客員教授
加入学会等

日本外科学会：指導医 日本呼吸器外科学会：終身指導医
胸部外科学会、肺癌学会、内視鏡外科学会、呼吸器内視鏡学会：特別会員

それぞれの人がこの世に誕生してきたのはある意味奇跡です。そして、自分にもわからない崇高な役割を担って、生老病死の苦界のなかお互い助け合い、支えあって、生きていかなければなりません。

私は医者として長い間実地診療に携わってきて、患者さんから種々のことを学ばせて頂きました。

本大会の主催者であります、先生方も生徒たちへの教育から教育（人間）の本質を学ばれてきたことでしょう。同じ観点から講演させていただきます。

私の卒業の図書館の掲額には、「科学を学ぶ、医学を学ぶ、そして人を学ぶ」と掲示してありました。そして、年を重ねるごとに「人を学ぶ」の意味がとどめもなく大きくなってきました。

わたしは子供の頃からの憧れはいつか、アフリカに行ってシュバイツァーみたいに医療で貢献できることを夢見ていましたが、40年前に同地（ケニア）に行くチャンスを得て、そこでの診療や帰国してからの外科医として患者さんの治療経験からLOVEの気持ちを持つことの重要性を感じてきました。LOVEとは、L：Listen（聴くこと。患者さんの話を共感を持って傾聴すること。）、O：Overview（常に人間の尊厳を第一義に全体としてみる。大きく全体を俯瞰する。）、V：Voice（声は言霊ともいいます。心の交流を醸し出す話し方をする。）、E：Excuse（お互いを許し、許されあう信頼性の確立です。)

これを念頭において患者さんとふれあい、それらのことからたどり着いた人間の尊厳、生きる（活きる）意味、命の理由、重さについて愚考を述べさせていただきます。

特 別 講 演

生きる力（活きる）力は患者さんから 風に立つライオンに寄せて LOVEメッセージとともに

特定医療法人耕和会 介護老人保健施設 サンヒルきよたけ
施設長 柴 田 紘一郎

みなさんこんにちは、只今ご紹介を受けました柴田といいます。本日は九州各県から神話と伝説の里、宮崎へようこそいらっしゃいました。昨日は台風12号の影響で雨が酷かったですけども、いかがだったでしょうか。

今日の題は、懸垂幕に書いてありますように、「生きる力は患者さんから～風に立つライオンに寄せて LOVEメッセージとともに～」となっております。



私は、宮崎県の出身で、まずちょっと宣伝をさせていただきます。このスライドは平和台という所ですが、昔は「八紘台」といって紘一郎の紘です。神武天皇が初代天皇として即位され、それから紀元2600年を記念して造ったのがこの「八紘一宇」の塔です。大体この字が名前に付く人は、昭和15年から20年に生まれた人達が非常に多いです。神武天皇が、美々津というところから東の方に行って橿原のほうに神宮を造ったそうです。一説によりますと、優秀な人材は全部東に神武天皇が連れて行ったので、残ったのは「ぼんくら」、何と言いますか「ぼくと」「いもがらぼくと」中がスカスカという意味です。私もその子孫ですから、中身はスカスカなのに、今日はこの貴重な時間を使って来て頂いて本当にありがとうございました。人の意見はいろいろですから「俺は違う。」という

意見があると思いますが、寛くご容赦ください。

それで今日の講演の内容としては、私が昔から思っていました夢の原点、アフリカに行ってアフリカの地で患者さんに学んだこと、また私がいかに患者さんから育てられ、そして患者さんから学んだか、またいかに患者さんから育ててもらったかということと、その後の診療体験について自分なりに患者さんとの信頼関係という意味で、ラブメッセージというキーワードを考えて述べさせていただきます。

最後に、先ほど案内がございましたように、さだまさしさんが創作した曲のDVDもありますのでそれを見て頂きます。

私は長崎大学卒業です。長崎大学の医学部の図書館の前にこんなことが書いてありました。「医学を学ぶ 科学を学ぶ そして人を学ぶ」医学を学ぶのは当たり前ですが、人を学ぶというのは、人というものがどんなものか理解しないとできないと思います。この中で人を学ぶのが、一番難しいと思っています。

スライドでは、医者は5者でなければならないと5つ記しています。その中の4番目に「芸者にもならんといかん。」と書いていますが、どういう意味かといいますと、患者さんは落ち込んで病院に来られます。ひょっとしてがんの患者さんもいる。例えばがんの患者さんに説明する時に「あなたはがんです。」と言ったら、患者さんガクッときます。早期がんであれば、「あなたはがんですよ。良かったじゃないですかがんで、早期がんですよ。早期がんは、手術すれば治りますよ。その分ストレスがなくなって良かったじゃないですか。」と言って持ち上げます。昔、芸者遊びというのは太鼓持ちがいて、一生懸命主人公を持ち上げる。例えばカラオケでも行くと、「よくやった、大統領、点数100点。」とか言うでしょ、あれと同

じで患者さんをいかに前向きにさせるか、それは芸者と同じだと思って、私はここに芸者を出しているのです。そうすると、こんなことをよく言われます。「医者がそんなこと勉強せんでもいい、そんなことより一生懸命学問をして、患者さんがいかに治るかそれだけ考えていればいい、芸者の勉強をする必要はない。」やっぱり皆さんも不安な気持ちで病院に行った時に、先生が優しいだけでも心安らぐと思うのですね、そういう意味において私は芸者と書いているのです。



このスライドは、ゴッホの「種を蒔く人」です。ゴッホは、ご存知の通り太陽を黄色く描きます。日本人は赤ですよ。夕陽の周りが赤く染まった時にちょっと赤く見えますけど、太陽が赤ということはありえません。県立日南病院の院長をしていたとき、超立派な建物を作ったため、それを記録しておく目的でスケッチ大会を始めて、この時子ども達に付き添ってきていた先生が、太陽を黄色で描いていた子どもに、「あなた、ちょっとこれ太陽、太陽は赤色でしょ。みんな赤く描いているでしょ。あなた目がちょっとおかしいんじゃないかね。」と言うんですよ。先生の方がおかしいですよ。先生は、自分自身が間違っているのにもかかわらず、独断で赤と思っているから赤く描かせたいわけです。先生というのは、もう少し人を学ぶというか、やっぱり全体を学んでほしいと思って、それでこのスライドを出しているわけです。

私は、呼吸器外科で肺がんが専門です。私が若い時は結核の患者さんが多く、肺の悪いところをとって肺を開けて外から診る、そんな治療法がありました。毎日ガーゼを交換に行ったとき、私が口癖で「すいませんね、すいませんね。」って言うと、「先生がすいませんねって言うなら、すいませんじゃなくて治る方法を考えてね。」とされました。その通りですが、言われても方法がな

いものですからずっとその通りしていました。30年ぐらい後になって、アメリカやカナダに行く機会が増えて、カナダでお腹からある組織を取ってきてそれで患部を塞ぐ方法を見せてもらいながら、この患者さんのことを考えていました。その方法を日本に持ち帰ったらものすごく有効で、それまで日本でこんな治療法はなかなか難しいと言われていたのですが、私と京都大学の北野という先生が丁度同時にスタートさせました。柴田北野法と言いまして、もう今では教科書に載るくらいスタンダードな手術になって、私もそれで名前が少し高名になりました。インターネットで柴田の大綱法と言えば必ず出てきます。私は今でもこの患者さんに感謝しています。「私のような人を治すために頑張ってください。」と言われたのが全科王条の思いです。

ところで、我々は何処より来たのかということは大命題ですが、我々は科学的にいうと、100万年、300万年前、海から上がってきて、そして我々の祖先がずっと私たちに命を繋いでくれている。その証拠に我々の体内水分は海の水と同じ組成で、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウムみんな持っています。さらに間違いないのは、僕達はお母さんのお腹の羊水の中にいたと思います。羊水の海の中で我々は生きていました。そのとき息はどうするのかというと、我々も3ヶ月、4ヶ月、お母さんの羊水の中にいるときはエラがあるんです。我々は100万年、300万年前くらいに海から出てきて、そしてこうやって今は人間として皆さん命のリレーを繋げていっているんですね。そう考えると、命のすごさが分かってきます。

やっぱり病気で一番嫌なのはがんでしょう。それから心筋梗塞でしょうし、脳出血でしょう。人生というのはご存知の通り、生老病死といいまして、人生というのは苦しいもので、生老病死は誰にでも起こります。それから喜怒哀楽、嬉しい時はいいですけど、苦しい時は苦しくてたまりません。解剖学的には、頭には視床というところがありまして、その周囲にある海馬に喜怒哀楽のもとはあるんです。そしてこれを解消しようとか、低くしようということで、色々な宗教が沢山あります。私達は、これをどうにかしようとするんです。たちど、どうしようもできない。それが人生だと思うんです。

サン＝テグジュペリの書いた「星の王子さま」

という童話の中に狐が出てきます。狐と王子様が砂漠で会って、王子様が「僕の国では一つのもの凄く綺麗なバラがある。」と狐に自慢すると、狐が、「沢山バラがある所があります。あなたは一つしか知らないけれど、100万本もあるからそこに行きましょう。」と、そこに連れて行って見せるわけです。「あなたの一輪のバラより、こんなに100万本もあればそちらのほうが綺麗でしょう。」と言ったら、王子様が、「いや私のバラより綺麗なバラはない。何故かと言ったら、水がない時には水やり、蛾が飛んできた時にはトゲに刺さりながら蛾を取ってあげて、そして栄養もやり、毎日毎日世話してきたんだ。そんなバラがここにはない。100万本あろうが、私はただ今見ただけにすぎない。だから私のバラはこんなバラよりずっと綺麗だ。」と言ったんです。やはり、いかにその人に時間をかけるかが、一番大切ではないかと私は思って、人間の尊厳というのは凄いなと思いました。

ここに「夢と志」と出て来ましたが、私の夢は海外に行くことでした。子どもの時に、八紘台という平和台の横にジャングルというか森があって、そこでターザンごっこをしていたんです。それで、いつかは海外に行きたいなと思っていました。実は船員にもなろうと思って船員学校を志しました。しかし、行くなら飛行機だと思って飛ぶ練習をしていたんです。小学校の木造二階建ての横に木があって、その木から屋根の上まで羽ばたいて移って、そこでご飯を食べて降りてきました。誰に言っても信じません、あり得ない話ですから、でも自分は信じているんです。いつかこうやって飛んでよその国に行きたい、もっと長距離飛べないかな、飛べないかなとそういうことを思っていたんです。

参考資料の29ページにあるように、「中学生の道徳」「中学校美しい劇・脚本集」それから「みんなの道徳6年生」「夢や志を育む教育」それから「風に立つライオン」これは大学生用ですが、前者は小中学校の教科書に使っていただいています。

私が小学校1年ぐらい、終戦の時でした。その頃は年紙芝居がよく来ていました。その中に、密林の聖者といいましてね、今でいうシュバイツァーが出てきてカッコいいなあと思っていました。ターザンや少年ケニアとかもあって、いつかは行きた

いなと思っていました。その後、長崎大学に行きまして、そこに熱帯学研究所というのがありました。そのころ日本は高度経済成長期に入ってきていて、アフリカへ医者を派遣せよと要請がありました。アフリカには医者がいなかったんです。ここが東アフリカで、こっちがシュバイツァーのいたガボンというところですよ。私が行ったのは東アフリカで、オバマ大統領のお父さんが住んでいたということで一躍有名になりました。

私が行っている時に、私ともう一人日本人の医者が増員され、院長はインド人でした。実際に1071年、1072年に手術した数を書いてあります。合わせますと確か1300例、3人でやっていました。1日10~例ぐらいですか、いろんな手術をしました。その時の懺悔ですが、やはり私たちは卒業6年目で行ってますので、本当にその患者さんのためになるような手術はしていないんですよ。インド人の院長の言われるままに仕切るぐらいの程度でした。アフリカ語で「ありがとう」を「サンテサーナ」って言うんですけど、その患者さんは、いつも「サンテサーナダクトリ、サンテサーナダクトリ。」と言ってありがたがってくれる。そうすると自分自身の存在感を認めてくれたと思って、もの凄くありがたかったです。今のラブメッセージを教えてくれたのは、アフリカの患者さん達です。

それから、緊急手術を年に1000例ぐらいずつしています。あの頃は分からなかったエイズの皮膚病とかいろいろしています。そして、帝王切開を1年間に約180例しています。アフリカ人は腰が大きいから大丈夫だろうと思いませんか、ところが、骨盤児頭不適合といいまして、骨盤は大きいけれど、赤ちゃんの頭が大きすぎて出て来る時に出てこられない。それで帝王切開をしないと子宮が破裂します。それで手術したのが、3人で平均すると70例ぐらいです。最近ケニアは陸上の長距離や中距離でもの凄く強いでしょう。殆どマラソンも1位、2位でしょう。あの中の一人ぐらいは、これで出した子の孫がいるのではと、もう一人の日本人と話すんですけど、それだけ帝王切開が多かったですね。アフリカは広いですから、フライングドクターサービスといいまして、砂漠のほうに飛行機で飛んで行って砂漠で手術するわけです。

この頃の話、さだまさしさんが詩に書いてく

れました。私が一番好きなフレーズはここです。「診療所にくる人々は病気だけれども、少なくとも心は僕より健康なのですよ。」というフレーズがあります。最終的にはやっぱり人というのは、結局心の問題ではないかなと思います。

医療というのは「時に癒し　しばしば支え　常に慰め」と書いていますように、本当にどれだけ私たちが治しているか、殆どが自分で治ります。私は今、老人保健施設というところにおりますが、一番多いのは皮膚剥離で、凄く皮膚が柔らかいですから、ちょっと強く握っただけで皮膚が擦り剥けるわけです。そしたら、皮膚は剥離して下の真皮が出ていますから、大変痛いし感染もします。だから、それをどうするかというと、少し寄せて治しますが、どうしても寄せられない人は、そのまま軟膏で治していきます。私たち医者は、どのくらいで治るか判断はできますが、その皮膚を治していくことはできません。これは神様の領域です。不思議ですが、綺麗に治っていきます。それも自分の体が治していきます。お年寄りの方が多いのに、その方たちも綺麗に自分の体が治します。人間の自然治癒力ですね、この力は本当に凄いです。



「私が処置し、神が癒したもうた」これは、中世の外科医の祖と言われているフランス人のパレという人が言ったんです。福沢諭吉が、慶応大学の医学部の入り口に、「無限の輸贏　天また人　医師いうよをやめよ　自然の臣なり　離婁の明視と　麻姑の手と　手段の達するの辺　ただこれ真なり」と書いています。「医者よ　そういうのは神様が治すことで、自然が治すから何もしなくていいということじゃなくて、いろんな手段を使ってとにかく治すように頑張りなさい、努力しなさい。」というのが福沢諭吉の言葉です。どちらも同じことを言っているのだと思います。

ICU集中治療管理室といいますけど、Intensive Care Unitです。集中して治療して、そして治らないかもしれないけれども、ケアは最高にした。と、いう意味でケアという言葉は最高の言葉なんですよ。

外国人が、「I love you.」と言いますが、loveが最高と思われるでしょうが、loveではなく、

「I want to care you.」(私はケアしたい)と言ったら、最後まであなたを面倒見たいという意味なんです。だから外国人は、「I love you.」と言われるよりも、「I want to care you. until your death.」と言われた方は凄く喜ぶそうです。医者がケアの心を忘れたらいけないと私は思っています。

それでは、表題にありますようにLOVEについてお話をさせていただきます。LOVEのLは、Listenという意味です。聞くということは、傾聴といいますが、とにかくよく話を聞いてあげる。話を聞くということは、医学だけではないですね。皆さんの学校で生徒さんたちが、いろいろ言ってくると思うんですが、根気よく時間をかけて聞いてあげる、これが一番ではないかと思います。がんの患者さんは、末期になるときついですから、私達をしょっちゅう呼びます。私は行って、話を聞きます。「先生私はがんですか?」「いっちゃん(少しも)治らんよ。」「きついよ。」「痛いよ。」と。行く方も嫌なんですね。大概ドクターはみんな、あまりがんの末期になると行きたくないんですよ。言われるのは、きつい、ネガティブな話ばかりだからです。私はそこに行く要領を得まして、看護婦さんに「僕は、さんとここに今から行くから、話を聞いてくるから、その間1時間ほど、僕を呼ばんでね。」と言って行くんです。そうして、患者さんのところに行きます。その患者さんはいろいろ言います。「もうきつい。」「痛い。」昔話をしたりします。私は何もしません。私はただ黙って話を聞いています。するとその患者さんが、大体40分ぐらいすると、「ああ先生、良かった。あー、ようおってくれたね。なご(長く)おっよう話聞いてくれたね。話を聞いてくれたから、ちった(少しは)楽になったごつもあるし、私も疲れたから、もういいが、あー、あなたも他の仕事があっちょろ。行きなさい。」と言います。「そうですか、大丈夫ですか?。」と言うと、「私の話を聞いてもらただけでもよかつ。」と、痛みのことはあまり

言われないうです。またその次の日に行きます。行けば行くほど、その患者さんから信頼され、最終的には、「いつかはあの世に行きますけども、それでも私は良かった。」と言ってもらえます。だから私は聞くListen、聞く傾聴が大事だと思います。僕がいる施設でも、老人の人たちの話を聞いてあげると、皆さん納得されます。

ここに「月愛三昧」と書いてあります。その昔、インドのマガタ国の王子が、そそのかされて王（父）を殺害し、後にそれを悔やんで全身に皮膚病が出たところ、それをお釈迦様は、月愛三昧という方法で治したということです。これは、月の光が何も言わずに私たちを静かに照らす、黙って照らしてくれるのと同じように、あれこれ言わないで相手のありのままの苦しみを黙って傍で受けとめ、寄り添っていく方法です。これを月愛三昧というそうです。皆さんも、子どもがいろいろ言うてきた時に、やっぱり答えを出したくなりますよね。その時に黙って、うんうん言ったら、非常にいいと、私自身が何回も経験しているので、Listenということをこの場を借りて言っているわけです。

それから皆さん子どもさん相手が多いです。よく「ねえ、お母さん聞いて。お父さん聞いて。」と言った時に絶対聞いてあげてください。「今、忙しい。」「後で、後で。」と言うと、子どもがやる気をなくす、話もしなくなります。医者立場から言うと、親類の方がいいよとなった時、聞こえなくなるその時に、医者が来て「ご臨終です。」と言う。その直後に「ああよかった、こんやつは生きちゃった時に凄かった、こんやつはこげなめにあうやる思った。」と、傍で話さんでください。心臓は止まっても、聴覚というのは残っているそうです。それが証拠に、我々は何でこの言葉を覚えたか、子どもが何で覚えたか。子どもは一生懸命聞いています。だから聞くということは、とにかく大切にしないといけません。

「無財の七施」とあります。仏教用語で、眼施、和眼施、愛語施、身施、心施、壯座施、房舎施、ただでにこやかにしてあげられる、優しい言葉をあげられる、ボランティアをする、心施、そういう言葉をプラスする。そして、傾聴施、聞いてあげる、これただですね。その傾聴施を大切にしないといかんと思います。

それから、一週間前のNHKの認知症の特集で出てきたエマニチュードということです。認知症

の方に対する接し方がで効果があるという放送がありました。つまり、認知症の方に、見つめること、話しかけること、そして触れること、そして立つこと、この4つをフランス語でエマニチュードと言います。これで認知が改善してくるということです。僕は、若い時、肺の手術をしていました。その人達の回診に行きます。3日目ぐらいになると、患者さんに痛みが取れてきますから、見つめる、それから話しかける、そして患者さんと、ゆっくり手を握ります。手を握って話しかけ、見つめます。そして、その患者さんを立たせます。「さん。ちょっと歩いて。」と、歩かせます。そして、「スタイリストやね。」「歩き方が良いね。」「モデルなみやなあ。」と褒めます。そうしたら最近、エマニチュード（見つめること、話しかけること、触れること、立つこと）が、非常に流行ってきています。人間の心というのはみんな変わらないですね。だから、これは、僕はやっぱり自分が思っていたとおりはできたと思います。それから、立つことというのは、僕に言わせれば運動です。長く立つ、運動する、肺が動いて息をする、それが、健康教育ですね。食べることも大事です。皆さんも嫌いなものあるでしょ。「おら、にがごり（ゴーヤ）だけはダメじゃ。」という人あるでしょ。宮崎の名産ですから食べて下さいよ。この嫌いなものを食べることが健康の秘訣だと思います。それを食べることによってバランスが保てるから、好きでないものを食べてもらう。これが健康教育じゃないかなと思います。給食の嫌いなものアンケートを取って、その嫌いなものを作るようにしたらどうかと思います。

次にLOVEのOは、Overview 全体を見ることということです。私は、「サンヒル」という老健施設にいますけれど、この前、こんな人がおりました。うちの臨時職員で時給が1,000円だそうです。その人がとても働くんですね、だから僕はアルバイトのわりにはよくやるなと思って、その人とちょっと話したことがあります。「あなたは給料も安いのに、仕事をよくするね。」「先生仕事は癒しなんです。」と言うんですね。給料一杯もらってればそうでしょ、だけど給料は安い、そして、臨時ですから、仕事しないときその分時間は引かれるし、ボーナスもないんですよ。その人が「仕事が癒しですから、楽しいです。」と言うんですね。「うわー、これは凄くいいことを言う人やな。」

その全体を見た時にこれは凄い人がおったと思いました。管理している僕にとって「仕事が癒し。」は、最高の褒め言葉です。もの凄く嬉しかったです。全体を見るということです。Overview。シュバイツァーはこんなことを言っていますね。「成功は幸せの鍵ではありません、幸せが成功の鍵です。」だから、もし自分のしていることが大好きなら、あなたは成功していくのです。テレサも同じことを言っております。皆さんもお仕事をされて、そのお仕事でご不満があって、常に愚痴を言っている時は、それは仕事を愛していないんですね。「良くしようということで、愚痴を言っている」と言い訳をするでしょうけど、僕はそう思いません。やっぱり自然に出てきますね。



金子みすずの「積もった雪」、東日本震災で聞いたと思いますけど、優しいですね、やっぱり。「上の雪寒かろうな。冷たい月がさして。下の雪、重かろうな。何百人も乗せていて、中の雪、寂しかろうな。空も地面も見えないで。」雪をこんなに思うことができる優しさに、もう涙が出てくるくらいいいと思います。そういうところに心を持っていくということがいいですね。こういうふうに人間一人一人違います。そういうことが、我々普通の人を元気付けてくれます。

次にこれはもう口、LOVE のVoiceです。口というのは、その一言、「舌三寸五尺の人を殺す」と書いてありますが、舌先、三寸というのは10センチぐらい、舌でいろいろ言った時に昔の人は、五尺150センチの人を殺すと言っています。たった舌の三寸で五尺の人を殺す。口がいかに大切かです。僕が今、話しているのは口、ご飯食べるのも口です。「がんにならない予防12ヶ条」というのが昔ありました。今、あまり言いませんね。約8種類は口から、醤油や、焼き魚はいかんとか、お酒は何かと書いています。みんな口で

すよ。口は食べないと大変なことです。大切ですけれど、逆に変な言葉、マイナスの言葉を言うと「吐く」ということになります。口というのは常にプラスのことを言わないと叶いません。29ページに「子は親の鏡」を入れています。これは先生たちご存知の通り、美智子妃殿下が20年くらい前ですか、「子どもが育つ魔法の言葉」ということで書いてあります。上7つはネガティブなことが書いてあります。子はけなされて育つと人をけなすようになるとありまして、後の14番目から愛してあげればとても明るい子に育つ、励ましてあげれば子どもは自信を持つようになります。つまりです。先生たちはご専門だからいろいろあるでしょうけれど、やっぱり子どもも大人も全部マイナスの言葉を出したらダメですね。「吐く」は、良くないということです。

この一番下に書いていますが、「つきを呼ぶ魔法の言葉」ありがとうございますという言葉です。斉藤一人という人がおります。化粧品を出しています。約7年前から3年間か4年間、日本の所得NO.1です。松下幸之助より上だったんですね。その人が言っていることが、「とにかく、ありがとうございますと感謝を言う、あるいは思いなさい」1日感謝を100回すれば、100回分、200回分すれば200回分と言っています。私はその通りだろうと思います。

それから、五日市剛さんと宮崎で一緒にしゃべったこともあります。この人も「ありがとう、感謝します。」という言葉キーワードにした本を出したら、100か110万儲かったとか、著作権が入ってきたということです。「五日市先生、僕も同じこと思っていたんです。」と言ったら、「先生、バカですよ、そんなこと思ったらすぐに本にするんですよ。本にせんと、なんぼ口で言うたって何なりませんよ。先生が言う口じゃないですか。」と言われました。確かに僕が言ったのは、「吐く」のほうですね。だから大きなチャンスも逃げていくんです。

これはメラビアンの法則、これもよく講師を呼んで話を聞かれるでしょ。接遇のときに、必ず言いますけれど、言葉は大切ですが、言葉の言い方があるんです。わんわんわんわんと大きな声で言って相手を否定するのと、同じ否定するにしても優しく「ああ、そおう、そうは思わないけど、そうかなあ。」という具合にするのでは、受け取り方

が全然違います。だから、そこに書いてありますように、言い方、仕草、見た目、それから声の言い方、ボイカルですね、そして実際に口で言った言葉。だから、この言い方というのを先生たちも子どもさんたちと常に全体を見ながらしていただきたいと思いますね。

それから最後のLOVEのExcuse、これが難しいです。Excuseは許し、許されるということです。今の世の中、僕なりに思うんですが、誤解があったらごめんなさい。僕長いこと生きてきて、今ほど「許さん、私は絶対許さん」という言葉を聞くとはいないですね。昔は、自分からも言っていました。「ごめんね、ちょっとこれくらい許してよ。」と言ったら、「しゃあない、お前が言うから、許したるか。」今は「俺は絶対許さん。」と言われますもんね。こっちが間違ったら、「絶対許さん。」と言われてもしかたないですけど、この「許す」ということは難しいですね。昔は「ごめんね、ちょっとごめんね、悪かった」と、僕も医者50年ぐらいいやっていますけれども、患者さんに、家族に「すいませんでした。」「ここは僕が不注意でした。」「縫い方が悪かった。」と言ったら、「ああ、そうね、先生も若けんから今から頑張らんばね。」で終わっていたのです。今は「そうね、あんたが下手じゃったということやね。ほんならあんた、ちょっとそれなりのものをもらおうかね。」と、すぐに許すということはまずないです。ところが、自分の子供がすると許すんです。自分の子供とか、知った人だと「まあいいが」となります。でも、知らん人だと、まず許してくれません。やっぱり許す、許さないという尺度で、その全体の社会が分かるのではないかなと僕は思っています。

話が飛びますけれど、僕が30ぐらいの時、おばあちゃん達は、たぬきがついたとか、なんとか化けもんがついたとか、よく言っていました。今の人達は、そんなことは言いません。「何かほらおかしか、ほんとに現象がある。こらおかしかよ。」そのついたとか、つかんとかという、抽象的なことは言われません。世の中変わってきたんですね。

ただ、本当に許すという言葉は、この世からなくなっているような気がします。今、裁判員制度が始まりました。みんな、厳罰になったそうです。その裁判員制度で、法律家専門家がするより、俺は絶対許さんというのが多いですね。新聞見ると、

殆ど許さん事故ですね。だからこの許し、許されるというのは、本当に難しいと思います。

医学は、ここに書いていますけれど、考えようでして、医学というのは耳が聞こえないのはいけない、四肢が不自由なのはいけないと否定から始まります。仏教では耳が聞こえないが一向に構わない、もう死ぬか生きるかは別に問題じゃないという絶対的な肯定から始まるのが仏教だそうです。日本人がこういう仏心というのを今からどう持っていくかです。難しいですね。

歎異抄というのがあります。僕はこれ、いいことを言っていると思います。「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや」というのがあります。唯円に言わせれば、悪人というのは、ここが難しいんですけど「俺悪い事をした、いやあ、やっぱり悪い事をしたな、今度はすまい」と後悔するでしょ、一生懸命考えるでしょ、それがいいんだそうです。そういうふうにと考えると、皆が「いやあ、俺だけじゃない、今後は変えよう」「あれだけ悪い事をした。それに許してもらった。本当にありがとう。俺は更にいい男、いい善人になるぞ」というのが、僕は、唯円の歎異抄の訳じゃないかと思うんです。人間は弱いものですから、そこに性前説、性悪説と書いていますけど、僕に言わせれば性弱説ですね。人間というのは弱い、だからお互いに許しあったらどうかと思うんですけど、そう簡単なものじゃないですね。皆さんも現実、今何かあったら「絶対許さん」と言うと思いますよ。

これが、「放蕩息子の帰還」というレンブラントの絵です。「エデンの東」って知っておられますか。兄と弟がおって、弟の方がもう非常に放蕩三昧して親父が金持ちなもんですから、親父の金を持って遊びに出かける。家を出ていくわけですよ。そして、お金もなくなって家に帰ってきた。すると、親父は喜んで、その兄に、「弟が帰って来た、羊を殺して羊の肉を食べるぞ。いい服を着せろ、風呂に入れろ。」と言う。兄が「お父さん、あの弟はあれだけ遊び、金も使って、帰ってきたら、何でそんなに歓待してあげるんですか、おかしいんじゃないですか。」と言う。親父が「いやあ、あれはいろんな苦しみを経てきた、あれはお前以上に色々な事を知っている、人間の機微を知っている。だから俺はそれがめでたいと思っている。それでお祝いなんだ。」と言ったという話です。

生きる技をここに書いています。やっぱり何と
いったって、気、気力、気分ですね。だからちょっ
と読ませて下さいね。

「どんな時も肯定し、感謝し、プラス発想する
癖づけ。それから、常に謙虚に、常に学ぶ癖づけ。
伸びる人はどんなことから、どんな人からも学
んでくれる。常に人間性を高める努力をする。次
に陽気は美德、陰気は悪徳。ここですね、そして
食べ物に薬に勝り、気は食べ物に勝る。」

ということで、全てをとって人間だからこんな風
にはいきませんよね。みんな毎日毎々が憂鬱ですよ
ね。生きてること自体が憂鬱と言う人が沢山お
られると思います。僕なんか本当に運がいいです。
「僕は苦しい時も運が अच्छا もんな、運が悪い、
きつい時もこれは、必ず明日の幸せというか、明
日の運のために、今日こうなんだ」と思うんです。
だから、あんまり、そう落ち込まないでもいいか
なと思います。

それから、100円ショップに行くと、コップは
100円で売っています。皆さん、100円ショップで
コップ2つ買ってきて、そこらにある野草を取っ
て、こちらの100円コップに植えた花には「あな
たはいつ見ても綺麗ね。昨日とあんまり変わって
ないね。まあ、よく丈夫な花だわね。」と、もう
ひとつには、「あんたは昨日と比べて萎れてしも
うて、何ねそら。もうダメじゃない。」と言っ
てみてください。悪口ばかり言われた花は、大体い
いこと言われた花より1日早くダメになるそう
です。これは単純に100円ショップでできますので、
やってみて下さい。

それから、100円で思い出しました。僕は、今
は臨床をしていませんけれど、昔、患者さんを診
ている時に「お世話になりました。先生に何かお
礼したいんですけど、何かありますか。焼酎飲
みますか、酒飲みますか。」と聞かれるから、僕は
嫌とは言いません。「それでは、私に2,000円く
ださい。」と言うんです。その2,000円は何かとい
うと、あの頃切手は50円、葉書50円、それを40枚買
って頂いて「毎年この40枚2,000円で、あなたに返
しておきますから、毎年正月と暑中見舞いくだ
さいね」と言います。そうすると今でも出してく
れる人がいます。非常に嬉しいです。元気が分
かるでしょ。その人達は「今でも先生、元気に
してます。」とくれるんです。50円で。今、2
円張らんといかんですけれど、だけど凄く元
気になります。

もうお蔭様です。だから生きる技と書いてあ
ります。

それから、これから宣伝に入ります。先ほど
言いました、「風に立つライオン」の小説に、ま
ささんが、こういうことを書いています。僕は
この一言が大好きです。「医師が患者さんか
ら奪ってはいけない最も大切なものはな、命
じゃないんだ希望なんだ。だって命はその人
の体の持ち物だけど、希望は心の持ち物だろ
う。人は体だけで生きてるんじゃないねえだ
ろ、心で生きてるんだ。」という一説があ
ります。私は、こういう気心、心
思い、これがやっぱり一番大切じゃないか
なと思います。皆さんも職業上、子どもさん
たちを元気づけていかんといけませんので、
やっぱり心、元気な心を持つようなことを
教えてほしいと思います。



それからですね、ホリスティックってわかり
ます？医療は、なにも医者がするんじゃないん
です。誰でも医療というのはできるんです。変
な話、ボランティアもそうですけれども、僕が
思うのは、老健施設にいまして、「孫療法」と
そこに書いていますが、じいちゃん、ばあ
ちゃん見舞いに、孫が時に来ます。そしたら
じいちゃん、ばあちゃんが、凄く元気がな
ります。子どももそこら辺で走り回って、そ
して夕方「バイバイ。」って帰って

いくんですけど、その日、来たところのじいちゃん、ばあちゃん元気ですね。その孫が何をしとるかといったら、何もしていません。じいちゃんの周りで走り回って、そして傍でなんのかんのして、そして「バイバイ」言って帰るだけです。僕は治療しているんですよ。だけどその治療の効果は、上がらないんです。孫が来るのは、数ヶ月か、まあ半年の一回ぐらいです、来て何もせんです、走り回って帰るだけです。そしたら、孫の方が、僕達が一生懸命しているより、利用者の方に元気を与えているんですね。だから、医療というのは、なにも医者じゃなくていいんだと思います。その人の心にどんなに響いていくか、これが一番だと思います。

宮城県以外の人に、郷土の宣伝もと思ひまして、ここに高木兼寛といいまして、宮崎市の高岡が出身です。「病氣を見ずして、病人を見よ」と言った人です。この人は、森鷗外と戦ひましてね。森鷗外は「脚氣はウイルスから」と、この人は「麦から、麦の中の胚芽のビタミンB1から」と言った人です。この人は実証医学したんですね。実験医学は森鷗外、そして森鷗外は、高木兼寛に負けるということになります。

これは、ピカソです。ピカソの「科学と慈愛」1894年、大好きな絵です。表題は、僕に言わせれば、科学というのは体、慈愛というのは心だろうというのでカッコしています。この場面をタクティールケアといいまして、手を触っているだけの話です。手の温かさで、「触っておるよ、あなたに関

心持っているよ、頑張ろうね」という意味です。僕、これを2、30年前からやっていて、私自身はそう信じているから、人にも信じてもらおうと思って、タクティールケアを出しています。

皆さんは、相手が子どもだから、僕は、皆さん大変いい職業だと思います。僕も、最後ですから言いますが、今、小学生、中学生、高校生、大学生の先生の給料、一番いいのは大学の先生ですよ。僕は、やっぱり今と逆にせんといかんと思うんです。そしてこうやって、先生たちが人を育てて行ってほしいなと思っています。



今からですね、私の若い時も出てきますので、DVDを見てもらって、講演の与えられた時間の最後とさせて頂きたいと思います。

何と言いましても、今日は皆さん九州各県から来て頂いてありがとうございました。

来年は長崎だそうです。また次は、長崎を楽しんで頂ければと思います。本当にありがとうございました。

「生きる(生きる)力は患者さんから
風に立つライオンに寄せて
LOVE メッセージとともに」

特 別 講 演 資 料

第13回九州地区健康教育研究大会
 生きる(活きる)力は患者さんから
 風に立つライオンに寄せて
LOVEメッセージとともに



柴田紘一郎
 平成26年8月4日(月)宮崎

**医学を学ぶ、科学を学ぶ、
そして、人を学ぶ**

医者「教育者」は5者でなければならない。
 ○学者(科学的に正しい医療が提供できなければならない)
 ○教育者(疾患と治療に対し患者が理解する事を助けなければならない)
 ○役者(必要とあれば、患者を相手に怒ったり悲しんだりしなければならない)
 ○芸者(ややもすると落ち込む患者の気持ちを明るくしなければならない)
 ○易者(患者の病気についてその将来を正確に見立てなければならない)

人生(生・老・病・死)
 いのち・生きるとは; (何故、誕生してきたのか? 喜怒哀楽は何処から?)
 個と他との支えあい。

人とは:
 「人間は誰も尊い存在なのですが、自分は価値のない人間になってしまうのが、何よりも本当に不幸である」
 マザーテレサ(1910-97年) 1979年ノーベル平和賞受賞

生物の進化と体液



項目	単位	値
身長	cm	170
体重	kg	65
血圧	mmHg	110/70
心拍数	1分間	70
体温	℃	36.5
血糖値	mg/dL	100
血中Na+	mmol/L	135
血中K+	mmol/L	4.0
血中Ca2+	mmol/L	2.0
血中Mg2+	mmol/L	0.8
血中Cl-	mmol/L	100
血中HCO3-	mmol/L	24
血中H+	nmol/L	40
血中OH-	nmol/L	10
血中NO3-	mmol/L	0.1
血中NO2-	mmol/L	0.05
血中H2O2	mmol/L	0.01
血中H2O	mmol/L	55.5
血中O2	mmol/L	0.1
血中CO2	mmol/L	1.2
血中Hb	g/dL	15
血中Hct	%	45
血中HbA1c	%	5.7



診療所に集まる
 人々は病気を治す
 だけでなく心は
 僕より健康なはず


LOT

私が処置し、
 神が癒したもうた。
 アンブロワーズ・パレ

医療とは
 ときに癒し、
 しばしば支え、
 常に慰む。
 トルドー

無限の輪廻また人
 医師いうをやめよ自然の臣なり
 離れの明視と麻姑の手と
 手段の違ふの違ふだこれ真なり

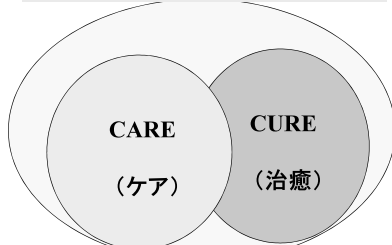
福沢諭吉





Merrick; Can you cure me?
Treves; No, No, No.
We can't cure you.
But, we can care for you.

19世紀末のイギリスの医師
CureとCareの概念が根付いていた



LISTEN 聴

傾聴 について

- ・傾聴の3つのポイント 1) 受容 2) 共感 3) 自己一致
- ・傾聴の効果 1) 信頼関係 2) カタルシス効果 (告白、懺悔について)
- ・月愛三昧 (がつあいざんまい)

○神様は私たちに二つの耳と一つの口を与えました。このことは、私たちはしゃべるよりも、より聴くべき事を示唆しているのではないのでしょうか？
○賢者は二つの長い耳をもち、一つの短い舌を持つ。
○英明な人物というのは、決して相手が話しているときに口を挟まない。

無財の七施: 1: 眼施、2: 和眼施、3: 愛語施、4: 身施、5: 心施、6: 仕座施、7: 房舍施。
+ 傾聴施

OVERVIEW

他人の考えを勉強する。本を読む。
人間「いのち」について考える。
心と言葉と行動は三位一体。

使命

どんなに旨いものを食っても8時間食べ続けられるものではない。遊ぶにしてもそうである。ただ仕事だけは8時間やっても飽きがこない。またやる気がでる。

VOICE(口) 生きる源

その一言(言霊)

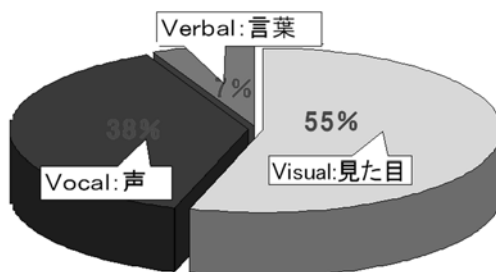
その一言で 励まされ
その一言で 夢を持ち
その一言で 腹が立ち
その一言で がっかりし
その一言で 泣かされる

ほんの僅かな 一言が
不思議に大きな力を持つ
ほんのちよつとの 一言で

世の中にとら(タイガー)おほかみ(ウルフ)は何ならず/人の口こそなおまさりけり。
やってみせ 言ってみせて させてみせ ほめてやらねば 人は動かじ
山本五十六

ツキを呼ぶ魔法の言葉 「ありがとう」と「感謝します」 五日市 剛

メラビアンの法則



Visual(視覚情報: 見た目・表情・しぐさ・視線)
Vocal((聴覚情報: 声の質・速さ・大きさ・口調)
Verbal(言語情報: 言葉そのものの意味)

EXCUSE

(許し、許される
赦、宥、譲、聴す。)

孔子: 恕 仏陀: 慈

うかつあやまり

往来しぐさ。生きる於志江。

江戸しぐさ 越川禮子

○共感(共感、共食、共語、共働、共生)

○同治(どうじ), 対治(たいじ)

歎異抄

善人なおもて往生をとぐ、
いわんや悪人をや

—第3条— 唯円

性善説(孟子)

性悪説(荀子)

性弱説

放蕩息子の帰還
レンブラント・ファン・レイン 1669年



生きる技(ART OF LIFE): 氣

- 1; どんなことも肯定し、感謝し、プラス発想するくせづけ。
- 2; 常に謙虚に、常に学ぶくせづけ。
◎伸びる人はどんなことから、どんな人からも学んでくれる。
◎伸びない人は、優秀な人からも学ばない。その上批判する。
- 3; 常に人間性を高める努力をする。

陽気は美德。陰気は悪徳

食べ物薬に勝り、

気は食べ物に勝る。

幸せの七福字 「うれしい」「たのしい」「しあわせ」
「ありがとう」「かんしゃします」「ついでる」「ゆるします」
天国言葉(ひとり)

病気を診ずして、
病人を診よ



高木兼寛(1849-1920)

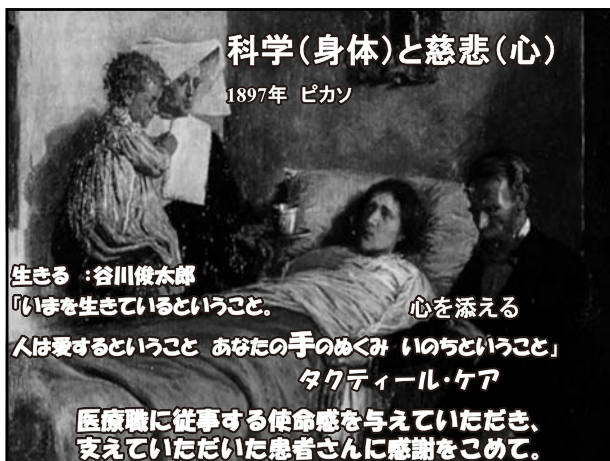


NPO 法人 風に立つライオン①

【設立理念】
一良徳は良徳と患者の信頼関係の上に成り立つ。この関係が希薄になりつつある。心ある医師づくりの活動をやりたいと考えました。

NPO 法人 風に立つライオン②

【達成方法】
1. インドにあるマザーテレサのホスピス施設「死を待つ人の家」へのボランティア活動
2. 聖路メディカルハウスでの研修
3. 今後「風に立つライオン」大学を設立し各所で医の倫理を伝える。



科学(身体)と慈悲(心)

1897年 ピカソ

生きる : 谷川俊太郎

『いまを生きているということ。』

心を添える

人は愛すること あなたの手のぬくみ いのちということ」

タクティール・ケア

医療職に従事する使命感を与えていただき、
支えていただいた患者さんに感謝をこめて。

最高の資源は人材

1日を楽しみたい人は花を活けなさい。
1年を楽しみたい人は花(稲)の種をまきなさい。
10年を楽しみたい人は木を植えなさい。
100年を楽しみたい人は(人・気)を育てなさい。

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
 不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
 「かわいそうな子だ」と言って育つと、子どもはみじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、
 子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

ドロシー・ロ・ノルト・レイチャル・ハリス 著
 「子どもが育つ魔法の言葉」 より

風に立つライオン

突然の手紙には驚いたけど嬉しかった
 何より君が廣を怨んでいなかったということが
 これから此処で過ごす僕の毎日の大切な
 よりどころになります ありがとう ありがとう

ナイロビで迎える三度目の四月が来て今更
 千鳥ヶ淵で昔君と見た夜桜が恋しくて
 故郷ではなく東京の桜が恋しいということが
 自分でもおかしい位です おかしい位です

三年の間あちらこちらを廻り
 その感動を君と分けたいと思ったことが沢山ありました

ビクトリア湖の朝焼け 100万羽のフラミンゴが
 一斉に飛び立つ時 暗くなる空や
 キリマンジャロの白い雪 草原の象のシルエット
 何より 僕の患者たちの 瞳の美しさ

この偉大な自然の中で病いと向かい合えば
 神様について ヒトについて 考えるものですね
 やはり僕たちの国は残念だけれど何か
 大切な処で道を間違えたようですね

去年のクリスマスは国境近くの村で過ごしました
 こんな処にもサンタクロースはやって来ます
 去年は僕でした
 間ではじける彼等の祈りと激しいリズム
 南十字星 満天の星 そして天の川

診察所に集まる人々は病気だけれど
 少なくとも心は僕より健康なのですよ
 僕はやはり来てよかったと思っています
 辛いと言えは嘘になるけど しあわせです

あなたや日本を捨てた訳ではなく
 僕は「現在」を生きていることに悪い上りたくないのです

空を切り裂いて落下する雫のように
 僕はよどみない生命を生きたい
 キリマンジャロの白い雪 それを支える錯綜の空
 僕は風に向かって立つライオンでありたい

くれぐれも皆さんによくしく伝えて下さい
 最後になりましたが あなたの幸福を
 心から遠くから いつも祈っています

おめでとう さようなら

“風に立つライオン”に寄せて

“ケニアでは南十字星は見えますか”
 それはある結婚式で、ふとまささんから
 尋ねられた言葉であった。その時、何故ま
 さんが南十字星の事を尋ねたのか判らな
 かった。

それから数ヶ月後に送られてきた“風に立
 つライオン”の歌でその疑問が判明すると
 もに昔日の感慨を新たにした。

小生達がいた頃のケニア・クナール州立病
 院にはまだ現地卒業の医師はいなかった。盟
 主国イギリスをはじめ、インド、イタリア、
 ソビエト連邦、日本等の外国の医学部を卒業
 した医師達によって診療が行われていた。薬剤
 も医療器具もさらに病棟の設備も不十分で、
 マラリアの蔓延するなか、まるで野戦病院の
 様相を呈していた。しかし、患者達は力強か
 った。治療によって回復する事を信じ、一方
 では運の悪さを嘆いていた。ケニアは赤道直下
 にある位置、星はあくまで炎の、高地特有
 の爽やかな気候、夜は満天の星の見守るしと
 ねの自然のもと、彼らは人間（ホモ・サピエ

ンス）という動物も牛や象やライオンと同じく
 生・老・病・死の避けられない事を我々文明
 人より強く日常的に思っていたに違いない。
 “風に立つライオン”は小生のアフリカでの2
 年あまりの体験及び浅学菲才のゆえの雑談を
 医師を例にとり人としての生き方をまさし
 さんの感性と才能で創作した曲である。

この歌は現代人の心の不摂生の為、過剰に
 しみついた魂の脂肪に対する警告でもあるよ
 うに聴こえる。小生もアフリカの大地を巡り
 学んだ事をすこしでも役立てて“風に立つライ
 オン”のようになりたい。この歌で何人の人
 が医師をこそぞしたであろうか？小生の所
 属する大学にも数名いる。まささんが尋ね
 た南十字星とは、ケニア・タンザニア国境にあ
 るキリマンジャロ「スワヒリ語でキリヤマ・
 ヌジャロ（即ち輝く山）」よりも高い所から地
 上へ降りそそぐ“夢という光”の事だったの
 だと最近感じている。夢はバンドラの箱が開
 いて最後に人間に残ったのぞみだから。

柴田紘一郎

○ 中学生の道徳 3 自分をのばす 風に立つライオン (32)

廣済堂あかつき 東京 2014 年

○ 中学校 楽しい劇・脚本集(英語劇付 III) A Lion Standing Against theWing

日本演劇教育連盟編 P175-192 国士社 東京 2011 年

○ みんなのどうとく 6 年 (宮崎県版) 夢はアフリカのかなたへ (p13-16)

学研教育みらい (東京) 2011 年

○ 夢や志をはぐくむ教育(中学校版) 志高く生きる 風に立つライオン (p93-98)

大阪府教育委員会 大阪 2010 年

○ 風に立つライオン (第 26 回宮崎医科大学すずかけ祭医学展 ライオン企画)

増補第 2 版 不知火書房 (福岡) 2013 年